

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

<p>学会名</p>	<p>第58回植物生理学会年会</p>
<p>演題名</p>	<p>Molecular mechanisms regulating tissue reunion in incised plant tissues.</p>
<p>発表者</p>	<p>○<u>Masashi Asahina</u>[1], Miyuki Nakanowatari[1]※, <u>Keita Matsuoka</u>[1], Weerasak Pitaksaringkarn[2], Shinobu Satoh[2]. (植物生理学研究室) [1]. Dept. Biosci, Teikyo Univ. [2]. Life & Environ Sci., Univ. Tsukuba.</p>
<p>内容</p>	<p>鹿児島大学群元キャンパスで開催された日本植物生理学会第58回年会にて企画されたシンポジウム「Augmented Symplasm: supracellular structure associated with the secondary organogenesis.」にて、本学・植物生理学研究室が筑波大学との共同で進めている、植物切断組織の癒合に関わる転写因子と植物ホルモンの機能に関わる研究について、最新の研究成果を交えて発表を行った。 以上の研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」による支援を受けて行ったものである。</p>
<p>関連画像</p>	<div data-bbox="506 1151 1310 1721" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="506 1780 1050 1810">学会が開催された鹿児島大学・群元キャンパスの様子</p>